

二学期の抱負

三年二組 深野

六月から始まった今年度。新しい生活にも慣れ、三年生は本格的に進路を見据える時期になりました。

小学校六年間、中学校三年間の義務教育を終える私達が次に進むのは、自らの手で選んでいく未来です。三年生の中には、もうすでに自分の目標を定めて勉強に励んでいる人もいれば、明確な進路を見つけられず思い悩んでいる人もいます。

夢・志の実現への第一歩目である高校受験に向け、私は二学期の目標を大きく二つ決めました。

まず一つ目は、今以上に集中して受験勉強に取り組むことです。

二学期が始まり、受験生としてとても重要な時期を迎えました。しかし、私はつい誘惑に負け勉強に集中できなくなることがあるので、今のままではいけないと思っています。

志望校の過去の問題を用いて傾向を調べたり実際に解いてみたりして、当日に少しでも不安を残さないようにしていきたいです。

今の自分の頑張りで、未来の自分が決まります。受験までの残り日数を「まだ何日もある」と考えず「あと何日しかない」と考え、一日一日を大切に努力していきたいです。

二つ目は、中学校生活の残りの日々を悔いなく過ごすことです。

本来であれば、今日から始まる二学期には体育祭や音楽会などの全校での一大行事が行われるはずでした。しかし、新型コロナウイルスの影響で、残念ながら中止になってしまったものが多くあります。最後の一年ただだけに、三年生の中でも落ち込んでいる人は少なくないでしょう。

しかし、だからと言って最後の思い出が全く作れない訳ではありません。

三年間の集大成を見せられる場は、行事だけではないと思います。大変な今だからこそ経験できる思いや、教室での何気ない一日まで、残されている時間のすべてを宝物にしていけたらと私は思っています。

受験に向け、集中して勉強に取り組むこと。

そして、残りの学校生活を悔いなく過ごすこと・この二つを目標として、未来の自分のために精一杯努力する二学期にしていきたいです。そして卒業の日に、素晴らしい三年間だったと思えるようにしたいです。